

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都杉並区高円寺南 3-62-6 高円寺ゲーテビル 1F
園名	カメラキッズ高円寺園

1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

身体を使って楽しむ「乗る・登る」運動遊び

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

子どもたちが日常の遊びの中で、乗ったり登ったりする動きを楽しむ姿が多く見られたことから、本テーマを設定した。これらの動きは体幹やバランス感覚、腕や脚の筋力など、全身の発達につながる重要な運動であると考えた。また、自分の体の動かし方を試しながら挑戦する経験を通して「できた」という達成感や自信にもつながると考えたため「乗る・登る」をテーマとした運動遊びを取り入れた。

2. 活動スケジュール

4月～3月の期間において、週1回の頻度で実施

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

平均台・ヨガマット・踏み台、段差ブロック・安全確認用マット・記録用カメラ・記録用紙

4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

子どもたちが「乗る・登る」といった動きを楽しめるよう、さまざまな遊具や環境を活用した運動遊びを行った。大きさの異なる手作りの台や段差を使い、バランスを取りながら進む経験や、自分の力で体を支えて上へ進む体験ができるようにした。道具の配置を工夫することで、「登る・降りる・またぐ」といった動きを組み合わせた遊びも楽しめた。子どもたちは繰り返し挑戦し、体の使い方を試しながら喜びを感じる姿が見られた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

活動では、平均台や大きさの異なる手作りの台を用い、乗ったり登ったりしながら体を動かすことを楽しむ姿が見られた。平均台の上をゆっくり歩いたり、台に登ったり降りたりする中で、自分なりにバランスを取ろうとする様子が見られた。また「見て」「できたよ」「もう一回やりたい」といった声が聞かれ、繰り返し挑戦しようとする意欲的な姿も見られた。さらに、友だちが登っている様子を見て「がんばって」「次やっていい？」と声を掛け合う場面もあり、子ども同士で刺激を受けながら遊びが広がっていた。

保育者は安全に配慮しながら見守り「ゆっくり進んでみよう」「ここに足を置くと登りやすいよ」といった声かけを行い、子どもが安心して挑戦できるように関わった。

こうした関わりの中で、子どもたちは友だちや保育者とのやり取りを通して、自分の体の動かし方を試しながら遊びを楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動を通して、子どもたちは平均台や大きさの異なる台を使いながら、自分の体の動かし方を考え、繰り返し挑戦する姿が見られた。友だちの様子や保育者の声かけを受け、自信を持って取り組む姿へとつながっていった。また、布団を積み上げてブルーシートで覆った遊具は特に人気があり、0歳児の高月齢の子どもも一生懸命によじ登る姿が見られた。声かけによって順番を意識して待つ姿も見られ、遊びの中で社会性の育ちも感じられた。

今回の活動から、安心して挑戦できる環境づくりと、見守りながらの適切な声かけの大切さを改めて感じた。今後も主体的に体を動かせる環境を工夫していきたい。